



# 連協道路ニュース

発行 横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会 事務局  
Tel 045-893-4877 <http://renkyoueditor.web.fc2.com/>  
Mail: renkyoueditor@mail.goo.ne.jp

第 269 号

(創刊 1988.12.14)

2012.02.05

## 「やらせアンケート」訴訟 被告主張に徹底反論

平成 22 年夏に栄区が実施した区民意識調査は、「南線は国家プロジェクトとして重要で、しかも東名などに繋がる利便性の高い道路である」と利点だけを並べて、「あなたはこの道路に期待しますか」という誘導方式、つまりやらせアンケートである。

更に、「集計法の誤りによる間違っただけのデータを得て、これを公表したのは税金の無駄遣い」として横浜市監査委員に監査請求し、これが却下されたのを受けて 8 月 2 日に横浜地裁に住民訴訟を提訴した。この事は道路ニュース 263 号(平成 23 年 8 月)に報告した。

第一回口頭弁論は 11 月 16 日に開かれ、そこで訴状に対する被告の答弁書が提出された。この中で被告横浜市の代理人として 3 名の弁護士から成る弁護団は、原告らの主張は「住民による監査請求及び訴訟」を定めた地方自治法第 242 条に反する不適法なものであり、却下すべきものであると強く主張した。

これに対して原告らは 12 月 26 日付で準備書面を提出し、この中で平成 18 年 4 月の最高裁判決を引用して被告の主張に徹底的に反論した。この判決は東京都羽村市が計画した駅周辺整理事業について、住民の利益に反する事業を住民の意思を無視して進めるものとして住民らが住民訴訟を提起したが、地裁と高裁共に却下された事件について、最高裁が住民の主張を認めて逆転勝訴としたものである。

この訴訟の内容は私達の場合と類似しており、この最高裁判決に照らせば私達の主張の正しさは明らかであり、勝訴以外はあり得ないとさえ思えるのである。

1 月 16 日の第二回口頭弁論は、各団体から 27 名が参加して傍聴席を埋めて聞き入る中で進められた。ここでは原告らの準備書面に対

する被告の反論がいつ出るかが大きな関心事であったが、「いつ提出できるか」との裁判長の問いに対して被告側弁護士は「2 月末になる」と答えた。これは予想以上に遅い提出であり、強力な弁護団を抱えながら原告への反論がなぜこのように長時間を要するのか不可解という外ない。次回の第三回口頭弁論は 3 月 7 日午前 11 時よりと決定した。(法都計部)

### 対外活動報告

- 01/14 川崎公害団体合同新春のつどい出席(1名)
- 01/16 栄区アンケート問題住民訴訟第二回公判(原告4名、傍聴27名)
- 01/16 情報開示請求「横浜環状道路計画決定関係書類等」於いて：市役所(3名)
- 01/17 緊急抗議集会「八ツ場ダム建設再開は許さない」衆院第一議員会館会議室、3名参加
- 01/24 SORA プロジェクト打合せ(1名)
- 01/31 かながわ大気汚染・道路公害連絡会
- 02/03 第12回大気汚染公害被害者新救済制度創設神奈川相談会(神奈川救済懇)(1名)
- 02/03 情報開示請求「横浜環状道路計画決定関係書類等」於いて：栄区役所&市役所(3名)

### 横環南線の地盤と地下水脈問題講演学習会

#### のお知らせ

(主催：横浜環状道路(圏央道)対策連絡協議会)

日時：2012年3月11日(日)

13時30分～16時00分

場所：「庄戸中学校体育館」

講師：福島大学 柴崎 直明 教授

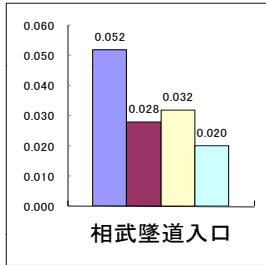
(共生システム理工学類、  
地下水盆管理研究等)

講演内容：

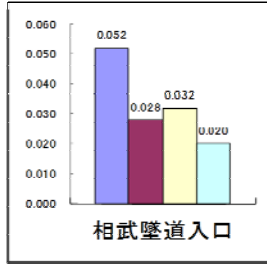
横浜環状南線が計画されている三浦半島活断層に近い当地区の地質について、地下水脈を中心に水文地質学の専門家による解析結果を住民の方々に講義して頂き理解の向上を図る。

## 平成23年12月期のNO<sub>2</sub> 定点測定結果まとまる

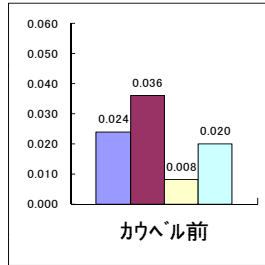
連協環境部では各団体参加のもと、毎年6月と12月の2回第一木、金、土曜日を使って栄区内の定められた場所47箇所に、二酸化窒素の濃度を測定するカプセルを設置して、所謂定期定点観測を続けております。今回は雨、微風の中での測定でした。以下に主な測定点の過去4回の測定値とグラフをしめします。



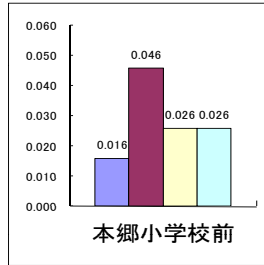
①



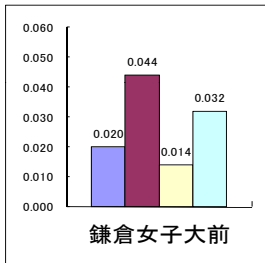
②



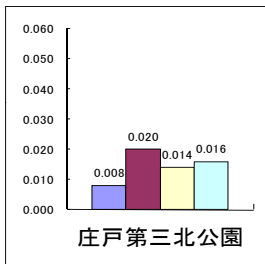
③



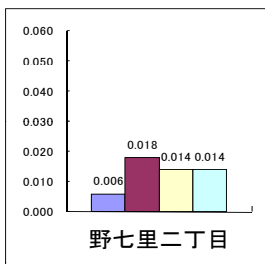
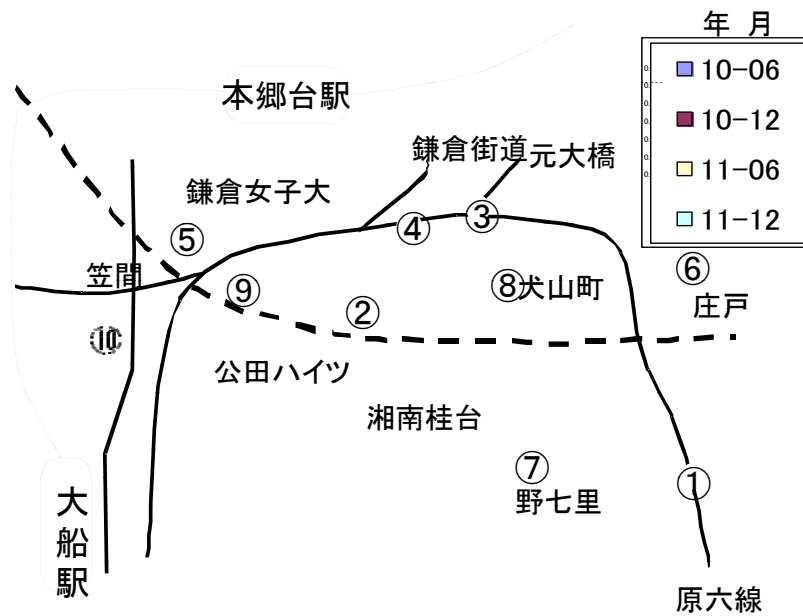
④



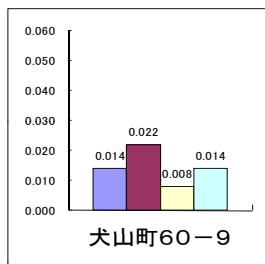
⑤



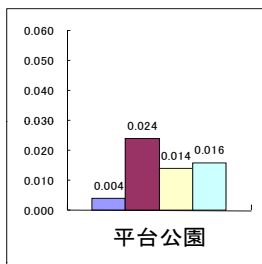
⑥



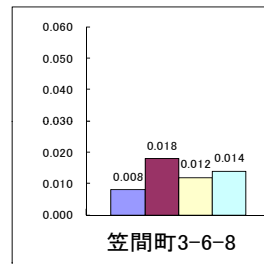
⑦



⑧



⑨



⑩

### 二酸化窒素測定作業

試薬及び試薬付きろ紙は有限会社筑波総研より取り寄せております。  
 カプセルの準備（木）。カプセルにろ紙をセットし、ひも付きカップ、記録紙と共に各団体に配布。  
 測定（木⇒金）。各団体は担当の各ポイントにその番号のカプセルを24時間設置した後回収。  
 分析（土）。カプセルに試薬を加えると、ろ紙が吸収した二酸化窒素と反応して赤紫色に着色。  
 その濃度をエコアナライザーNoxで測定します。ppmでデジタル表示されます。